

看護いばらき

No.118

2017年12月6日

+

公益社団法人
茨城県看護協会
Ibaraki Nursing Association



CONTENTS

- 2 第48回日本看護学会－在宅看護－学術集会
- 4 平成29年度地区意見交換会報告
- 6 平成29年度実習指導者講習会
- 8 委員会企画研修のご案内
- 9 平成29年度発達障害児の早期発見・発達支援研修会
- 9 管理者等研修「地域包括ケア」
- 9 平成30年茨城県看護協会「新年の集い」のご案内
- 10 第10回いばらき看護職合同進学就職説明会のご案内
- 10 平成29年度茨城県看護研究学会のご案内
- 11 「退院マネジメントガイドライン茨城版」のお知らせ
- 11 地域住民の生活を支える「まちの保健室」について
- 12 平成30年度会員手続きが開始します
- 12 理事会報告

会員数(平成29年11月26日現在)

合計 **14,150**人

保健師 339人

助産師 516人

看護師 12,249人

准看護師 1,046人

第48回日本看護学会－在宅看護－学術集会

選ばれる在宅看護の実現！ ～一步ふみ出そう！切れ目のないケアを目指して～



相川会長による開会あいさつ

と き：平成 29 年 9 月 14 日（木）・15 日（金）
と ころ：つくば国際会議場
参加者：2,196 名（2 日間）

在宅看護は、社会の変化や人々の多様化するニーズに対応していくために、人々の求める普遍的なニーズを基盤にしながらも、常にその時代にあったケアやサービスを創造していかなければなりません。本学会ではメインテーマを「選ばれる在宅看護の実現！」とし、第 48 回日本看護学会－在宅看護－学術集会が茨城県で開催されました。

■基調講演

「在宅看護の価値を問う ～療養者の生活の質向上に向けた協働の実現～」

講師 京都看護大学看護学部教授 堀井とよみ
座長 茨城県看護協会会長 相川三保子

基調講演では、地域包括ケアシステムが構築されていない頃から 24 時間在宅ケアの取り組みをしていた滋賀県甲賀市の事例紹介がありました。その中で参加する職種の専門性を理解していただくだけでなく、住民が自らできることを取ってしまわないこと、住民自身が力を発揮できるように指導する姿勢が大切だとありました。私達が指揮者のように全体を見渡した看護師になっていければよいとの願いが込められていました。



堀井先生の講演

■シンポジウム

「人口減少地域の療養を看看連携で支える」

座長 日本看護協会副会長 齋藤訓子
シンポジスト 茨城県総務事務センター技佐 大森葉子
茨城県看護協会専務理事 白川洋子
鹿嶋訪問看護ステーション管理者 畑山緑

シンポジウムでは、茨城県でも特に鹿行地域は医師、看護職、介護職など医療資源がきわめて少ない地域である。日本看護協会の重点事業である「看護職連携」を平成 28 年度は鹿行地域でも進められ、看看連携に取り組み、地域における看護職の役割を共有してきた。特に訪問看護ステーションはその中心となり、人口減少による地域コミュニティの機能低下を防ぐ場として期待されています。参加者は、取り組みについて興味深くメモを取り、意見交換も活発に行われていました。



シンポジウムの様子

■交流集会Ⅰ

「小児・若年者の在宅医療を考える～病院から地域へふみ出すために～」

講師 ひばりクリニック院長、認定NPO法人うりずん理事長 高橋昭彦
講師・座長 茨城県立こども病院 GCU 副看護師長 平澤明美



交流集会の様子

■交流集会Ⅱ

「在宅領域における看護師のクリニカルリーダーを用いた
人材育成の可能性」

講師 医療法人社団栄宏会オリーブ小野訪問看護ステーション管理者 松本淳子
講師・座長 日本看護協会教育研究部部長 渋谷美香

■□演発表 76 題

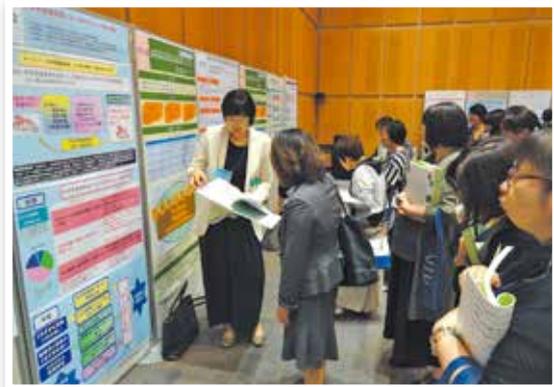


□演会場の様子

◎発表者の声

- ・患者さんやそのご家族が地域包括ケアのしくみを知らないから、不満の声があった。ケアマネ紹介で来るので、どういうふうに病棟を紹介しているか明らかにして地域包括の認知度、理解度を深めたいと思った。
- ・地域の特性に合わせた地域包括ができるように、病棟看護師の育成に力を入れて行きたいと思っています。

■示説発表 72 題



示説会場の様子

◎発表者の声

- ・教えてもらったことを病院に持ち帰り、在宅の患者がどのような生活をしているのか、スタッフに教育的な関わりができれば良い。
- ・在宅に行くと家族への思い入れが大きくなる。看取りでは在宅に入る時にどういう気持ちなのか？ポジティブな面があるのではないかと調べたかった。
- ・在宅に繋がるようなリハビリや看護ケアを行っていきたい。

参加者の声

- ・将来在宅をやりたい。在宅は高齢者だけでなく小児も対象になることがわかった。
- ・来年から実習があるので今回学んだことを活かして行きたい。
- ・ランチョンセミナーの「一流芸人から学ぶ！人を笑顔に導く笑いの五原則」がとても面白くためになった。
- ・□演発表や示説を見たり聞いたりすることで悩んでいることや、実際にやりたいことなどのヒントや道しるべになった。



取材者：渡邊・黒澤・鳥畑

平成29年度地区意見交換会報告

9月29日の鹿行地区を初日に11月10日まで全地区9カ所におきまして地区意見交換会が開催されました。

意見交換会では、看護職の職能団体として、地域ごとに最適な地域医療のあり方を考えていく必要があることから、茨城県や医療関係団体等への要望活動へつなげていくことを目的に、近隣の協会員同士が地域医療における現状や課題等の情報共有し、活発な討論が行われました。



議題1 平成29年度重点事業実施状況について

議題2 平成30年度茨城県予算編成に係る要望について

執行部より「平成29年度重点事業実施状況について」「平成30年度茨城県予算編成に係る要望について」説明があり、会員の皆様よりご意見・ご質問等をいただきました。

■主な内容

Q: 特定行為研修修了者を地域医療にどのように役立てたいか。

A: 実際に特定行為を行っていないが、新人や若い人たちに指導したり、医師との退院カンファレンスで医師と同じ視点、情報量でカンファレンスできたりと、行為をやらなくても看護の質を上げることができる。

Q: 訪問看護ステーション出向事業について期間はどのようになっていますか。

A: 施設の都合や個人の都合で工夫しながら相互間で話し合って決めていければよいのかと思います。一人前となるまで3カ月から6カ月は行ってもらっていますが、看護協会在宅支援推進部の担当にご相談ください。

Q: 災害支援ナースについて、研修の機会が少なく、フォローアップが3年に1度であり研修に参加したいというスタッフもなかなか参加できないということがあつた。少し研修の枠を広げる機会を増やしていただくともう災害支援ナースが増えると思うのでお願いしたい。

A: 災害支援ナースの更新は、他県では2年で更新、茨城県では3年で更新している。更新されていない方もたくさんいるので、研修内容については検討させていただきます。

Q: 茨城型地域包括ケアシステムの茨城型とはどういうことなのか。

A: 茨城型地域包括ケアシステムの具体的な定義はありません。赤ちゃんから妊婦さん、高齢者、精神を患った人、障害者、さまざまな人たちを今までは制度が縦割りだったために苦しい人たちにすぐ手を差し延べられなかった。縦を横軸にするために総合相談窓口というところが大きなキーワードが一つ、もう一つはファミリーケア、何か手だてをして地域でしっかりとみていきたいと考えている。



議題3 地域における看護師ネットワーク強化に向けての意見交換会

今回、新たな試みとして、会員の皆様より各地域の特徴や強み、看護職として働いている誇り、本協会への要望等を伺い、さまざまな広報媒体を活用しながら看護職の魅力発信し、入会率のアップ、会員サービスの向上につなげていくことを目的に本意見交換会（グループインタビュー形式）を実施しました。

今後、グループインタビューで会員の皆様からいただいた内容をベースに地域の特徴をふまえた茨城県看護協会リーフレットを作成する予定となっております。



◆テーマ

- ①看護職のネットワーク強化や多職種との連携をするために
- ②看護協会の意義を理解して新規入会をすることを促進するために
- ③看護学生に対して茨城県看護協会をアピールするために

■グループインタビューに参加していただいた会員の皆様からの意見・提案等

- 団体組織（看護協会）に入って自分たちは守られているということをしっかり説明する必要がある。
- 看護協会の会員カードでさまざまな優待制度（医療系図書の購入の割引購入、県観光課等と協働して観光地へ安く泊まれる等）を設ける。
- 准看護師の進学のアドバイザー（いつでも相談ができる人）が欲しい。
- 学生を準会員（会費無料・図書館利用可）として入会してもらおう。（就職後、会員として入会する場合に入会金割引等。）
- 看護協会の紹介DVDやフェイスブック、インスタグラム等SNSによるPRも取り入れたらどうか。
- 病院で開催するイベント（地域の方々がいらっしゃる）時にアピールしてはどうか。
- 退職された方に賛助会員になってもらえるようにする。
- 看護の祭典やまちの保健室等のイベントに看護学生にお手伝いしてもらおう。
- 入会して年数によってバッジの色が変わっていく。（ルビー→エメラルド→サファイア→ダイヤモンド等）
- パソコンを利用して学習できる環境が必要では。
- 医師、薬剤師、臨床検査技師、看護師から医療を学ぶ「メディカル塾（中高生向け、父兄も参加）」を実施してみてもどうか。
- 看護学生向けプレナース研修（マナー講座など）の実施。
- 看護学生向けのPRとして卒業の思い出、就活、ボランティアなど様々な要素を入れた卒業旅行を企画しては。

<参加者の声>

- ・今回の意見交換会ではグループインタビュー形式であり、近隣の状況等の意見交換ができ、是非今後も継続してもらいたい。
- ・近隣や他の地区との意見交換会もあると、更に連携が深まるのではないかと感じた。
- ・あらためて看護協会と自分達の結びつきを考える機会となった。



取材者：渡邊・木村・岩瀬

平成29年度実習指導者講習会

前期日程:平成29年7月19日～8月23日 後期日程:平成29年9月22日～10月20日

会場:看護研修センター 受講生:120名



10月20日「平成29年度実習指導者講習会」の閉講式が行われ、120名の受講生に修了書が授与されました。広報委員会では、受講生の皆様にインタビューを実施し、「受講の動機」「学んだこと」「今後どう役立てるか」について伺いましたのでご紹介いたします。これから、この講習会を受ける方の参考になればと思います。

〈受講の動機〉

- ・実習指導を行っている中で自分の関わりはこれで良いのか疑問に思い、教育の方法を学びたかった。
- ・病棟で実際に学生へ指導を行っているが、指導方法に迷うことや悩む事もあり、学ぶ事でさらに学生を理解し、より良い指導を行えるのではないかと思った。
- ・自分自身の考えを整理し、実習指導を行いたいと思った。
- ・日々戸惑いを感じながら実習指導を行っていたため、きちんとした知識をもってよりよい指導ができるようになりたいと思い研修に参加した。
- ・自分自身のスキルアップのために参加した。



〈学んだこと〉

- ・できていない事に目を向けるのではなく、できている事、やってきた事に対して認めてあげることが大切だとわかった。
- ・実習を通して成功体験を経験することが学生の自信につながるということを学べたので、成功体験ができるような関わりをしていきたい。
- ・指導を行うためには、多くの知識を必要とし、自分自身が理解していないと表面だけの指導になってしまう。
- ・グループワークを通して個人個人、しっかりした看護観・指導観などさまざまな考え方を共有でき、すごく刺激を受けた。
- ・県内にはたくさんの仲間・同志がいて、未来のナースを育てているチーム・メンバーがいることをこの研修で心から感じることができた。
- ・指導者は知識や技術をただ教えるだけではなく、専門職業人としての姿勢や態度のモデルとなり、意図的な関わりを行うことで、学生の学びを深めることが大切であることを学んだ。



〈今後どう役立てるか〉

- ・ 学生が困っている時などはこちらから声をかけ、学生が相談しやすいような環境を作っていきたい。
- ・ 実習指導がどのようなものかわかり、学生を「かわいい」「育てたい」という気持ちに変化したので、いまの気持ちを忘れずに関わりたい。
- ・ 学生が相手の立場に立ち、気持ちを理解できる看護師となれるように指導していきたい。
- ・ 学生が実習で学んだ経験を意味づけし、気づきを大切に育てたい。
- ・ 学生の立場になって考え、寄り添いながら、共に学んでいけるようにしていきたい。将来の私たちの仲間を大切に育てたい。
- ・ 教員と連携をとり、学生一人一人をしっかりと把握していく。学生が学びやすい環境を整えるためにスタッフとも連携していく。

〈助言者より〉

- ・ 人に伝えることの難しさ、大切さをグループワークで学んで行けたと思います。
- ・ 学生は情報を取ることができるが、それを結び付けられないので、結び付けるのが指導者の役割です。
- ・ 経験値での指導だけではなく、根拠を基にした指導ができる力を身に付けて欲しいです。
- ・ ここで作成した指導案を各施設で利用してください。



〈相川会長からメッセージ〉

一人一人の力は強くないですが、結集して素晴らしい成果がでていたと思います。
 また、指導者の方々もプロセスの一つ一つに良い関わりをして下さりありがとうございました。
 受講生のみなさまが素晴らしい実習指導者になることを願っています。

取材者：小川・守屋

委員会企画研修のご案内

■保健師職能委員会企画研修 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「保健師の質向上に関する研修」

目的：保健師として専門性を高め、効果的な活動を実践するために求められる資質の向上を図る機会とする

日時：平成30年1月20日（土）10：00～16：00

場所：茨城県看護協会看護研修センター

テーマ：「災害時の保健活動について」

講師 小原 真理子先生

（元日本赤十字看護大学 教授・現 NPO 法人災害看護支援機構 理事長）

参加条件：保健師・保健師活動に関心のある看護職

受講料：会員 2,000円 非会員 4,000円

応募期間：平成29年11月24日（金）から応募受付開始

■看護師職能Ⅱ委員会企画研修 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「施設における対人関係スキル」

目的：(1) 入居者とよりよい関係を築くための対人関係スキルの方法を理解する
(2) 多職種と協働してよりよいケアが提供できるような対人関係スキルを実践する

日時：平成30年1月18日（木）10：00～16：00

場所：茨城県看護協会看護研修センター

講師：角田 直枝 先生（茨城県立中央病院 看護局長）

参加条件：保健師・助産師・看護師・准看護師

受講料：会員 2,000円 非会員 4,000円

応募期間：平成29年11月22日（水）から応募受付開始

■医療・看護安全推進委員会企画研修 ＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

「医療安全担当者研修会」

目的：(1) 医療事故調査における現場保全、現場検証のあり方について学ぶ
(2) 他施設の医療安全担当者とのネットワーク構築ができる

日時：平成30年1月27日（土）10：00～16：00

場所：茨城県看護協会看護研修センター

講師：飯村 妙子 先生（水戸済生会総合病院 医療安全管理者）

参加条件：医療安全に関わる方

受講料：会員 2,000円 非会員 4,000円

応募期間：平成29年12月1日（金）より応募受付開始

委員会企画研修のお申し込み様式、お振り込み方法などは、
茨城県看護協会ホームページ（<http://www.ina.or.jp/>）をご参照願います。

平成29年度 発達障害児の 早期発見・発達支援研修会のご案内

日 時：平成 29 年 12 月 25 日（月） 10：00～16：30
場 所：茨城県看護研修センター 4 階 大研修室
水戸市緑町 3-5-35 TEL029-221-7021
対 象 者：保健所保健師、市町村保健師（母子保健・児童障害福祉担当）、児童相談所心理司・
保健師、保健所・市町村の発達相談に従事する心理職等
定 員：100 名
参 加 費：無料
講演内容：「発達障害のある子への支援 - ペアレントトレーニングを通して」
「幼児の言語指導の実際」
「ADHD児への対応」

申込方法

茨城県母子保健センター（029-221-1553）までご連絡ください。

管理者等研修「地域包括ケア」のご案内

日 時：平成 30 年 1 月 26 日（金） 13：30～16：00
場 所：茨城県看護研修センター 4 階 大研修室
対 象 者：看護管理者・事務局長及び将来その任に就く予定のある者
定 員：80 名
受 講 料：1,000 円（資料代）

申込方法・振込方法

茨城県ナースセンターホームページ（<http://www.ibaraki-nc.net/>）をご参照願います

平成30年茨城県看護協会「新年の集い」のご案内

広く会員の交流を目的に「新年の集い」を以下のとおり開催することになりました。
茨城県看護協会の来年 1 年のさらなる隆盛と会員相互の親睦をより一層深めるために、是非
多くの皆様方にご出席頂きたくご案内申し上げます。

日 時：平成 30 年 1 月 18 日（木） 18：00～20：00（受付開始 17:30）
場 所：水戸京成ホテル 水戸市三の丸 1-4-73
対 象 者：茨城県看護協会会員
会 費：7,000 円（当日受付で申し受けます）

申込方法

茨城県看護協会ホームページ（<http://www.ina.or.jp/>）をご参照願います

「退院マネジメントガイドライン茨城版」のお知らせ

退院支援担当のあなたの「あったらいいな！」を形にしました。
皆様にご協力をいただきまして「退院支援マネジメントガイドライン茨城版」が完成しました。
「退院支援マネジメントガイドライン茨城版」は、茨城県看護協会ホームページ (<http://www.ina.or.jp/>) より無料でダウンロードできます。療養者さんが病院等から安心して生活の場に戻れるよう、多くの病院・関係者の皆様にさまざまな現場でご活用いただきたいと思います。



「退院支援マネジメントガイドライン茨城版」の特徴

—その1—

入院から退院後までの支援のプロセスをわかりやすいようにフローチャートにまとめました。退院支援に必要なポイントについて、図表に示しました。ガイドラインは、フローチャートとリンクできるように作成しています。

—その2—

看護の専門性は、心身をみる力・生活をみる力をもって健康という視点から人をみつめ、療養者・家族および地域の持っている力を最大限に引き出しながら支援することです。このガイドラインは、退院支援の体制が各現場で異なることも踏まえて作成しています。

地域住民の生活を支える「まちの保健室」について

地域住民の生活を支える まちの保健室

看護職が健康に関する相談を無料でお受けいたします。

健康

介護

子育て

などお気軽にご相談ください。

場所

茨城県保健衛生会館 1階
水戸市緑町 3-5-35

開催時間

水・木・金（祭日除く）
9:30～12:00
13:00～16:30

健康相談、血圧、体脂肪、血管年齢測定など無料です。

日頃、何となく体調がすぐれないと感じている方、病院に行くほどでもない…

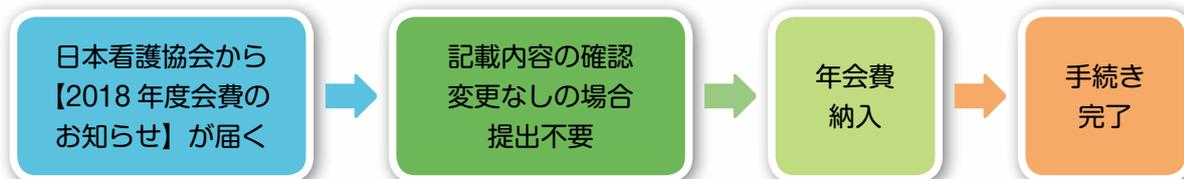
そんな時、誰かに聞いてもらいたい・話すだけでも心や体は軽くなります。

ご家族の方の相談もお受けします。些細なことでもOKです。

まずはお話ししてみませんか。気軽に立ち寄ってみてください。

平成29年
11月～◆新会員情報管理体制ナースシップ◆
平成30年度
会員手続きが開始します！

新会員情報管理体制ナースシップの運用に伴い、会員継続手続きが不要となり自動継続となります。
平成29年11月以降、日本看護協会から【2018年度会費のお知らせ】が届きます。
(施設会員の方⇒施設にまとめて送付。 個人会員の方⇒ご自宅に送付。)
記載内容をご確認の上、変更がない場合は提出不要。自動継続となります。



口座振替を選択している場合は、開始年度を待たず、翌年度の年会費が引落されますので、2017年内に【退会の連絡】をお願いいたします。

継続が未定の場合は年会費の納入を【保留】にすることもできます。

各お問い合わせは、茨城県看護協会までご相談ください。(☎ 029-221-6900)

平成30年度の継続を希望しない場合は、【退会の連絡】が必要となります。

平成29年11月～

- ◆日本看護協会より、(継続会員のみ)平成30年度会費のお知らせ等送付
- ◆茨城県看護協会より、(新規・再加入用)平成30年度入会申込書等送付
- ◆平成30年度入会申込み開始
- ◆平成30年度会費納入開始

平成30年1月29日

- ◆平成30年度年会費自動引落し(口座振替の場合)⇒毎月27日頃引落し

平成29年度 理事会報告

■第4回 書面理事会

【報告事項】

- 1 平成29年度日本看護協会第4回理事会報告
- 2 全国准看護師制度担当役員会議
- 3 医療安全推進会議
- 4 都道府県ナースセンターとの地区別意見交換会
- 5 第48回日本看護学会-在宅看護-学術集会報告

優良看護職員厚生労働
大臣表彰ご受章まことに
おめでとうございます。

村田 昌子 様

小松 美穂子 様

編集
後記

今年度より広報委員をさせていただくことになりました。
会員の皆様に興味を持って読んでいただけるように努めさせていただきたいと思っております。
冬の到来を迎えお体の調子はいかがでしょう？含漱・手洗いを徹底し忙しい年末年始に備え
ましょう。

〈広報委員 小川・岩瀬・木村〉